

太陽と風、大地、自然の恵みをエネルギーに!

さようなら原発1000万人アクション



また、②「さようなら原発・全国一千万署名」にもご協力ください!

要請事項

1. 原子力発電所の新規計画を中止し、浜岡をはじめとした、既存の原子力発電所の計画的な廃炉を実施することを求めます。
2. もっとも危険なプルトニウムを利用する、高速増殖炉「もんじゅ」および核燃料再処理工場を運転せず、廃棄することを求めます。
3. 省エネルギー・自然エネルギーを中心に据えた、エネルギー政策への転換を早急に始めることを求めます。

呼びかけ団体／呼びかけ人

「さようなら原発」一千万署名 市民の会

呼びかけ人 内橋克人 大江健三郎 落合恵子
鎌田慧 坂本龍一 澤地久枝
瀬戸内寂聴 辻井喬 鶴見俊輔

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

総評会館 1階 原水禁気付

電話 03-5289-8224 FAX 03-5289-8223

2011年(平成23年)9月20日(火) 14版 毎 日 新 聞

脱原発集会

避難者も叫び

日本全体で考えて／まだ隠しているのでは

「安全」うそだった

東京都内で19日午後開かれた原発依存からの脱却を求める「さようなら原発5万人集会」やパレードには多くの市民が参加した。故郷の福島を離れて避難している人や、事故をきっかけに初めて問題意識を持った人も目立った。

【長野宏美、山田素緒】

福島県南相馬市を離れて暮らせないで戻れ、川崎市に妻と娘、孫の4人で避難している元教師の山崎健一さん(65)は「福島に暮らしている人以外にも、原発問題にもっとも」と関心を持ってほしい。原発政策、脱原発を日本全体で考えてほしい」との思いで集会に参加した。南相馬に戻りたいが「1歳の孫を思うと、除染が完全に終わらない限り安心

できない」と話した。パレードに出発した。

福島に残っている消防士の娘婿の内部被ばくも心配という。「この年で故郷を追われて暮らすなんて考えたこともなかった。不安だらけで悲しいが何か行動しなければ何も変わらない」と話し、パレードに出発した。

福島県南相馬市を離れて暮らせないで戻れ、川崎市に妻と娘、孫の4人で避難している元教師の山崎健一さん(65)は「福島に暮らしている人以外にも、原発問題にもっとも」と関心を持ってほしい。原発政策、脱原発を日本全体で考えてほしい」との思いで集会に参加した。南相馬に戻りたいが「1歳の孫を思うと、除染が完全に終わらない限り安心

できない」と話した。パレードに出発した。

福島に残っている消防士の娘婿の内部被ばくも心配という。「この年で故郷を追われて暮らすなんて考えたこともなかった。不安だらけで悲しいが何か行動しなければ何も変わらない」と話し、パレードに出発した。

福島県南相馬市を離れて暮らせないで戻れ、川崎市に妻と娘、孫の4人で避難している元教師の山崎健一さん(65)は「福島に暮らしている人以外にも、原発問題にもっとも」と関心を持ってほしい。原発政策、脱原発を日本全体で考えてほしい」との思いで集会に参加した。南相馬に戻りたいが「1歳の孫を思うと、除染が完全に終わらない限り安心

できない」と話した。パレードに出発した。

福島に残っている消防士の娘婿の内部被ばくも心配という。「この年で故郷を追われて暮らすなんて考えたこともなかった。不安だらけで悲しいが何か行動しなければ何も変わらない」と話し、パレードに出発した。

福島県南相馬市を離れて暮らせないで戻れ、川崎市に妻と娘、孫の4人で避難している元教師の山崎健一さん(65)は「福島に暮らしている人以外にも、原発問題にもっとも」と関心を持ってほしい。原発政策、脱原発を日本全体で考えてほしい」との思いで集会に参加した。南相馬に戻りたいが「1歳の孫を思うと、除染が完全に終わらない限り安心

できない」と話した。パレードに出発した。

福島に残っている消防士の娘婿の内部被ばくも心配という。「この年で故郷を追われて暮らすなんて考えたこともなかった。不安だらけで悲しいが何か行動しなければ何も変わらない」と話し、パレードに出発した。

福島県南相馬市を離れて暮らせないで戻れ、川崎市に妻と娘、孫の4人で避難している元教師の山崎健一さん(65)は「福島に暮らしている人以外にも、原発問題にもっとも」と関心を持ってほしい。原発政策、脱原発を日本全体で考えてほしい」との思いで集会に参加した。南相馬に戻りたいが「1歳の孫を思うと、除染が完全に終わらない限り安心

できない」と話した。パレードに出発した。

福島に残っている消防士の娘婿の内部被ばくも心配という。「この年で故郷を追われて暮らすなんて考えたこともなかった。不安だらけで悲しいが何か行動しなければ何も変わらない」と話し、パレードに出発した。

福島県南相馬市を離れて暮らせないで戻れ、川崎市に妻と娘、孫の4人で避難している元教師の山崎健一さん(65)は「福島に暮らしている人以外にも、原発問題にもっとも」と関心を持ってほしい。原発政策、脱原発を日本全体で考えてほしい」との思いで集会に参加した。南相馬に戻りたいが「1歳の孫を思うと、除染が完全に終わらない限り安心

できない」と話した。パレードに出発した。

福島に残っている消防士の娘婿の内部被ばくも心配という。「この年で故郷を追われて暮らすなんて考えたこともなかった。不安だらけで悲しいが何か行動しなければ何も変わらない」と話し、パレードに出発した。

福島県南相馬市を離れて暮らせないで戻れ、川崎市に妻と娘、孫の4人で避難している元教師の山崎健一さん(65)は「福島に暮らしている人以外にも、原発問題にもっとも」と関心を持ってほしい。原発政策、脱原発を日本全体で考えてほしい」との思いで集会に参加した。南相馬に戻りたいが「1歳の孫を思うと、除染が完全に終わらない限り安心

できない」と話した。パレードに出発した。

福島に残っている消防士の娘婿の内部被ばくも心配という。「この年で故郷を追われて暮らすなんて考えたこともなかった。不安だらけで悲しいが何か行動しなければ何も変わらない」と話し、パレードに出発した。

福島県南相馬市を離れて暮らせないで戻れ、川崎市に妻と娘、孫の4人で避難している元教師の山崎健一さん(65)は「福島に暮らしている人以外にも、原発問題にもっとも」と関心を持ってほしい。原発政策、脱原発を日本全体で考えてほしい」との思いで集会に参加した。南相馬に戻りたいが「1歳の孫を思うと、除染が完全に終わらない限り安心

報告 (小高区・青田利幸) 行動を起こしましょう!

9月19日(月)東京・明治公園へ

ずっとさいたま市に避難していますが、19日、事務局長の山崎さん夫妻と明治公園での「さようなら原発5万人集会」に参加。これまで私が参加した集会では見たこともない大勢の人に驚き、小高から避難している知人や、原町や相馬市からバスでやって来た人々にもたくさん会いました。

ステージ上の大江健三郎氏や内橋克人氏、澤地久枝さんや落合恵子さんをすぐ目の前に見て、俳優山本太郎さんも飛び入りで「脱原発」をアピール。福島みずほ社民党主とチャッカリ写真を一緒に撮りました。

手作り看板を掲げて、原宿から渋谷のNHKホール前までパレードしましたが、沿道の人々や車から手を振ったり列に加わる若者もいて、これまでとは違う手応えを感じています。皆さんも一緒に行動を起こしましょう。



脱原発を訴えデモ行進する市民ら
—東京都渋谷区で19日、小林努撮影

今こそ、福島県民・南相馬市民の怒りを行動に表しましょう!
原発推進派の大新聞やテレビ局が報道しなくとも、今日日本で「脱原発」の歴史的なうねりが起っています。

